

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー 【2016No.42】 (HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ベートーベン他

曲名：弦楽4重奏曲 11番へ短調作品 95他

演奏：キアロスクーロ・カルテット

発売：harmonia mundi

No. : KKC-5337

概要：



キアロスクーロ・カルテットの演奏会で買い求めたもので、収録曲は以下のとおりです。

1. ベートーベン：弦楽四重奏曲 第11番 へ短調 op.95 「セリオオーソ」
2. モーツァルト：アダージョとフーガ ハ短調 K.546
3. モーツァルト：弦楽四重奏曲 第16番 変ホ長調 K.428

キアロスクーロ・カルテットのメンバー構成は、アリーナ・イブラギモヴァ（ヴァイオリン）、パブロ・ヘルナン・ベネディ（ヴァイオリン）、エミリエ・ヘルンルント（ヴァイオラ）、クラレ・ティリオン（チェロ）です。

生演奏でのダイナミックな演奏ぶりとは比べると酷ですが、それでも緊張感は伝わってきますし、第一ヴァイオリンのイブラギモヴァのダイナミックな演奏は本CDでも分かります。生演奏で第二ヴァイオリンのベネディが要所を締めていたのも伝わってきます。演奏会では、モーツァルトよりシューベルトの死と乙女に冴えを見せていましたが、本CDでもモーツァルトよりベートーベンのセリオオーソの方を買いたいと思います。キアロスクーロというのはイタリア語の「明と暗」という意味だそうですが、どうやら明より暗の表現に長けているように感じました。

